

# きゅうしゅう

久留米市

# No.17

編集・発行 九州防衛局 総務部  
福岡市博多区博多駅東2丁目10-7  
福岡第2合同庁舎内 TEL.092-483-8811

## 目次

- 1 陸上自衛隊幹部候補生学校紹介
- 2 自治体紹介 ～福岡県久留米市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション

陸上自衛隊  
幹部候補生学校

校風の象徴たる  
剛健の碑

宣誓を読み上げる  
幹部候補生

筑後川



# 九州防衛局

 Kyushu Defense Bureau

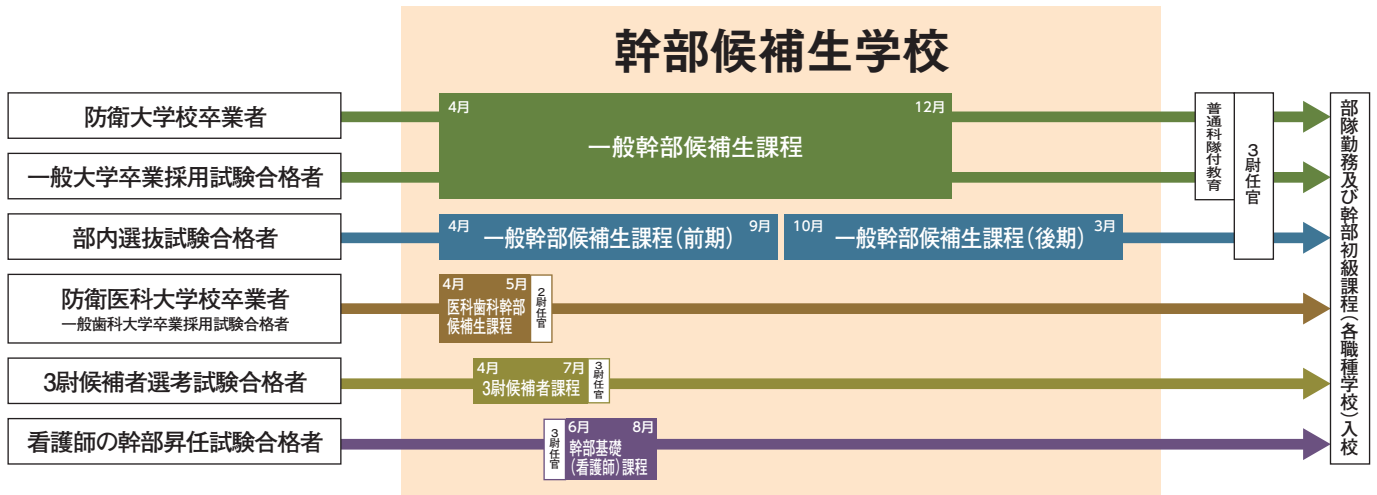
<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



# 1 陸上自衛隊幹部候補生学校紹介

## 陸上自衛隊幹部候補生学校(福岡県久留米市)は、

陸上自衛隊の幹部自衛官となるべき者が最初に入校する教育機関で、将来の陸上自衛隊を担うリーダーを養成するための修練の場であり、防衛大卒・一般大卒・部内選抜者などの一般幹部候補生課程、医科歯科幹部候補生課程、3尉候補生課程及び幹部基礎(看護師)課程の教育を担当している全国唯一の学校です。



## 幹部候補生学校


### 校風:質実剛健にして清廉高潔

校風の意味:「質実剛健」とは、戦う集団の幹部が、有事に真に役立つ人材となるために必要な、古来から武人が尊重してきた質実剛健の気風を指すものであり、「清廉高潔」とは、部下を指揮・統率する者として不可欠な清廉高潔なる品性を意味するものです。

校風は学校の教育理念・精神的支柱というべきもので、幹部候補生たる初級幹部を育成する本校の教育・指導理念を指し、教育システムのみならず、教育訓練指導や教育基盤等のすべてを象徴するものであり、校務運営全般にわたり広げていくべきものです。したがって、職員にとっては、校風を正しく意識し、職務遂行の原点とすべき意義を有し、候補生等にとっては、本校卒業後の部隊における「幹部としてのあるべき姿」に思いを致し、修練や努力の指標となるべきものです。

#### 学校の任務

- 陸上自衛隊初級幹部としての職務遂行に必要な知識及び技能を修得させるための教育訓練を行います。
- 陸上自衛隊幹部の「入門教育機関」
- 職種共通の基礎教育機関



剛健五訓

#### 学校の組織

学校は、幹部候補生を育成するため、企画室、総務部、教育部、学生隊及び教導隊から組織されています。

```

    graph TD
      A[校長] --- B[副校長]
      A --- C[企画室]
      B --- D[総務部]
      B --- E[教育部]
      B --- F[学生隊]
      B --- G[教導隊]
  
```

#### 学校の伝統

- 伝統行事
  - 高良山登山走(P4で特集)
  - 藤山武装障害走
  - 100キロ行進
  - 寒稽古
  - 知覧研修
  - 剛健の夕べ
  - 水泳訓練
  - 慰霊行事



100キロ行進



知覧研修

## 幹部候補生課程の入校から卒業まで

課程教育の目的は、幹部としての「資質」を養うとともに、初級幹部として必要な基礎的「知識・知能」を修得させることです。具体的には、信頼される小部隊のリーダーの育成に焦点を当てた資質の養成であり、小部隊の指揮官として必要な職種共通の基礎的知識・知能を付与することです。

教育課目	教育内容
戦闘・戦技訓練	戦闘行動及び部隊の指揮法に関する教育
戦術	部隊指揮の考え方等に関する戦術教育
防衛基礎学	自衛隊の装備等に関する基礎理論
戦史	戦史概論・作戦戦闘史に関する教育
服務・防衛教養	隊員指導の基本的事項、防衛に関する法規及び国際法、英語等の防衛教養
体育	体力・気力及びチームワークを練成する体育



陸上自衛隊幹部教育機関への入校の第一歩として、入校式が盛大に行われます。



**戦闘訓練基礎**：基本的な戦闘訓練(戦闘行動)を受けます。

**分隊・小隊訓練**：演習場を使用した野営訓練により小部隊指揮官に必要な基礎的戦闘行動及び実員指揮法を演練します。

**各種射撃訓練**：小銃・機関銃等の射撃予習訓練及び基本射撃・応用射撃訓練等を実施して、幹部として必要な射撃の基礎教育を受けます。



**戦術教育**：戦術の基礎教育を受けます。初級幹部として必要な部隊運用のための基礎的事項及び戦いの基本原則について各種想定、現地教育等を含む教育を受けます。

**現地戦術教育**：戦術教育の総仕上げとして、熊本県植木町の田原坂地区(西南戦争最大の激戦地)等の現地を使用した現地教育を受けます。

**戦史教育**：現代戦の認識と戦いの原則等を理解するため、明治以降の主要戦争について戦争の形態、戦略・戦術の変遷について教育を受けます。

**総合訓練(徒步行進)**：2夜3日にわたる100kmの徒步行進に引き続き、演習場において増強普通科中隊としての行動を一連の状況下において実施します。徒步行進は、昭和31年に伝統行事の一つとして開始されました。



**英語教育**：初級幹部として必要な英語能力を習得するため、軍服用語・表現を含む音声教材を活用した教育を受けます。

**伝統文化活動**：茶道を通じ日本の伝統文化を体験させ、幹部自衛官としての資質を涵養させるため、入校間に1回体験します。

**沖縄現地教育**：幹部候補生学校での戦史教育の総決算として沖縄戦史研修を受けます。

**各課程卒業式**：課程教育全課目の修了に併せて卒業式が行われます。



# 高良山(こうらさん)登山走

## ◆高良山登山走のはじまり

昭和27年、幹部候補生隊第3大隊長鈴木靖隆氏(旧海軍少佐)は、大東亜戦争時に派遣されたニューギニアのブナで、約12時間泳ぎ続けて九死に一生を得、任務を完遂されたが、海上において疲労困憊の中12時間に及ぶ必死の泳ぎを可能にしたものは、海軍兵学校時代に弥山登山走で限界に挑んだ体験であったと言う。このニューギニアでの経験から、自衛隊の若い候補生にも弥山登山走と同じように近く

の高良山登山走をさせて限界を体験させることは必ずや人生の中で役に立つであろうと考え、この高良山登山走を思いつかれたものです。

しかしながら、昭和27年当時は、1500名が入校するような状況であり、十分な準備訓練を施す余裕もなく、また、夏の酷暑の条件下で実施したためゴール到着後に倒れる者が続出し、その後は継続されずこの昭和27年の登山走は幻の初回となった。

## ◆高良山登山走の伝統行事としての始まり

昭和29年に着任した初代平井校長は、質実剛健にして清廉高潔なる校風の樹立を掲げ、この校風を具現化するために高良山登山走などを伝統行事として積極的に計画・実施し、その成果の結実により、校風の確立を図ろうと考えた。

昭和30年7月に行われた第1回目の高良山登山走には、個人競技及び区隊対抗の団体競技が取り入れられた。



## ◆高良山登山走の歴史

- ・昭和30年 個人競技及び区隊対抗の団体競技として開始。
- ・昭和32年 学校行事から正式な「体育課目」として位置づけ、高良山登山走を継続。学校の伝統行事として定着化を図った。
- ・昭和41年 昭和39年の東京オリンピックマラソンで銅メダリストになった円谷幸吉候補生が、高良山登山走において18分09秒(現在の到達目標30分00秒)という驚異的な記録を樹立。今なお歴代1位の記録として燦然と輝いている。
- ・昭和44年 競技は個人競技のみに改正。同年10月から正式個人競技として実施。
- ・昭和55年 女性自衛官が体験走として実施し、平成3年まで継続された。
- ・平成14年 平成16年の50周年を見据え見直しを行った結果、区隊対抗方式を復活。
- ・平成16年 区隊対抗を廃止し、再び個人競技のみに変更。
- ・平成19年 区隊対抗方式を復活させ現在に至る。



### ■高良山登山走のコース

学校正門右折～高良川～九州自動車道沿い～高良山車両用登山道までの約5.6km、標高差約150m。

### ■到達基準

男子:30分以内 女子:35分30秒以内

### ■高良山

高良山は、幹部候補生学校の北東約2km、耳納山脈の西端に位置する標高312.3mの天然の要塞と呼ばれる山である。

## 幹候校名物レシピ 「剛健ちゃんぽん」



### 材料 (1人分)

茹チャンポン ……150g (1玉)	<b>具</b>	
<b>スープ</b>	豚バラ肉 …… 40g	
削節 …… 5g	人参 …… 15g	
チャンポンスープの素 …… 25g	むき玉葱 …… 20g	
ガラスープ …… 10g	きくらげ …… 2g	
洋胡椒 …… 0.3g	いか切身 …… 30g	
濃口醤油 …… 2g	大むきえび …… 40g	
牛乳 …… 10g	かまぼこ …… 10g	
ラード …… 2g	もやし …… 70g	
	キャベツ …… 80g	
	きぬさや …… 10g	
	サラダ油 …… 3g	
	食塩 …… 2g	
	洋胡椒 …… 0.3g	
	豚骨(背骨) …… 20g	
	豚骨スープ(顆粒) 2g	

### 作り方

#### (前日)

#### ①豚骨スープ

1度湯通しした豚骨を水に入れ、香味野菜(分量外)を加え煮る。豚骨を沸騰させ、アクを取りながら5～6時間炊く。常に沸騰させながら、少しずつ水をたしていく。  
◎香味野菜は、玉ねぎ、人参、キャベツなどの切りくずで構いません。

#### (当日)

#### ②具を炒める

サラダ油で具を炒め、塩こしょう、豚骨スープ(顆粒)で味を付ける。  
◎いか、えびは事前にボイルして、炒める時は合わせる程度にする。  
◎炒めたときに出了汁はスープに使用するのて捨てずにとっておく。

#### ③スープの作成

削節でだしを濃いめにとり、前日作った豚骨スープを合わせます。チャンポンスープの素、ガラスープ、醤油を入れ、具を炒めたときに出了汁も加える。ここで味を見て足りなければ塩・こしょうで味を整え、最後に牛乳・ラードを入れ、出来上がり。  
スープの1人量は400ccで計算しています。

- ・豚骨スープ作成時に香味野菜を入れると、豚骨特有のくさみが消え、飲みやすいスープになります。
- ・ボイルしたきぬさやは、配食直前に具に混ぜることで青みが残り、見た目がキレイ。
- ・炒めたときに出的汁を無駄にせずに入スープに入れると美味しさ倍増です。

## 2 自治体紹介

# 福岡県久留米市

市民一人ひとりを大切にする市政  
安心、活力に満ちた久留米

市長あいさつ

久留米市長 橋原 利則



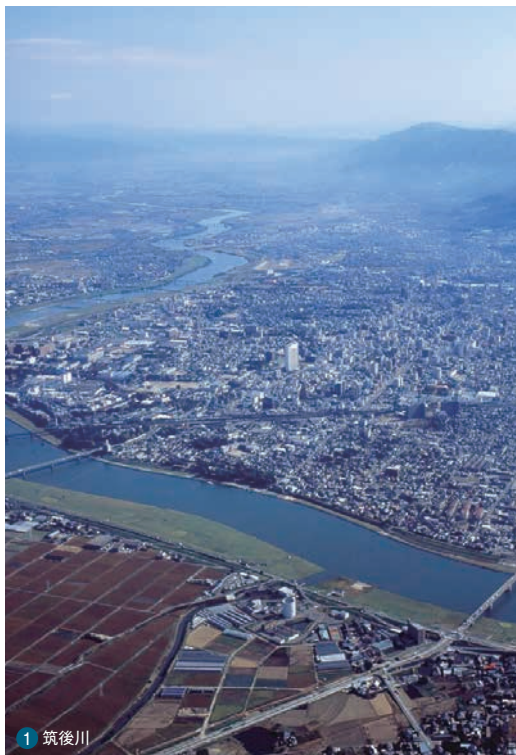
久留米市は、九州一の大河「筑後川」と雄大に連なる耳納連山や広大な筑後平野といった豊かな自然と温暖な気候に恵まれた美しい都市です。古くから交通の要衝に位置し筑後地方の中心として栄えてきました。

久留米市は明治22年4月1日に全国30市とともに日本で初めて市制を施行しました。当時は篠山城跡周辺を中心に人口2万4千人の小さな市からスタートし、その後、緋の街やゴムの街として発展、現在では人口が30万人を超える中核市へと成長しています。平成23年3月には待望の九州新幹線久留米駅の開業により、九州一円や関西方面の各都市との利便性が増しました。これを機に多くの方に久留米市の魅力を感じていただきたいと思ひます。

久留米市には、幹部候補生が集う陸上自衛隊前川原駐屯地のほか、陸上自衛隊久留米駐屯地、航空自衛隊高良台分屯基地の3つの自衛隊駐分屯地が存在し、くるめ水の祭典・筑後川花火大会等久留米市の各種イベントへの積極的なご協力や、防犯・防災の分野におけるご講演をいただくなど、平素から密に連携を図っているところです。

また、全国各地から入校される幹部候補生の皆様には、心のふるさと化施策の一環として、ほとめぎ(おもてなし)ファミリーへのホームステイ、あるいは久留米市観光大使として、卒業後、久留米のPRをしていただいております。

今後とも地域と自衛隊が築き上げてきた良好な関係を大切にし、より良いまちづくりを進めてまいりたいと考えております。



1 筑後川



2 水天宮



4 久留米つつじマーチ



3 筑後川花火大会



5 九州新幹線

### ①筑後川

筑後平野を雄々と流れる筑後川は、阿蘇外輪山に源を発し大分、熊本、福岡、佐賀の4県を潤し有明海へそそぐ、全長143kmという九州一の大河です。その悠々たる流れ、清らかな水脈と豊かさは、九州のシンボルであり母なる川として地域の歴史や文化を育んできました。

### ②水天宮

水天宮は全国水天宮の総本宮です。創建は、建久年間(1190~99)と伝えられ、平家が壇ノ浦の戦いで破れた後、官女按察使局が筑後川の辺り鷲野ヶ原に逃れ来て初めて水天宮を祀ったもので、後、慶安3年(1650)2代藩主有馬忠頼公の時、筑後川に臨む現在地になりました。

### ③筑後川花火大会

水天宮の奉納花火が始まりとされ、350年以上の歴史を持つ伝統的な花火大会です。約1万8千発の花火が2か所同時に点火。1時間半にわたって夜空を彩ります。毎年九州一円のみならず全国からも見物客が押し寄せる、まさに西日本最大級の規模を誇る花火大会です。

### ④久留米つつじマーチ

久留米市最大級のスポーツイベント「久留米つつじマーチ」。久留米市中央公園をスタートし、5km~40kmの4コースを歩く、ウォーキングの祭典です。(日本マーチングリーグ公式大会)

### ⑤九州新幹線

平成23年3月には待望の九州新幹線久留米駅の開業により、九州及び関西方面の各都市と直結し利便性が増しました。

# 3 九州防衛局 業務紹介

## 日出生台演習場における米海兵隊による実弾射撃訓練の分散・実施

～九州防衛局現地対策本部、陸上自衛隊西部方面特科隊 支援～

2月、日出生台演習場（大分県）において、沖縄の米海兵隊による実弾射撃訓練が行われました。この訓練は、沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の本土への分散実施に伴うもので、本年は、平成10年度以来9回目となりました。

今回は、人員約220名が参加し、車両約50両、砲6門を使用して訓練が行われました。

九州防衛局は、2月1日から29日まで演習場の廠舎地区に「米海兵隊実弾射撃訓練現地対策本部」を設置し、陸上自衛隊から射場安全情報の提供及び技術的支援・協力を得て、訓練の円滑かつ安全な実施を確保するとともに、地元自治体等との連絡調整や巡回等を行うなどして、地元の皆様方の安全・安心のために活動しました。



米海兵隊実弾射撃訓練現地対策本部開所式



日出生台演習場にて米海兵隊員を出迎える自衛官



日本文化に対し理解を深めるため近隣各種施設を巡る米海兵隊員



自治体や報道機関に対し訓練公開を実施

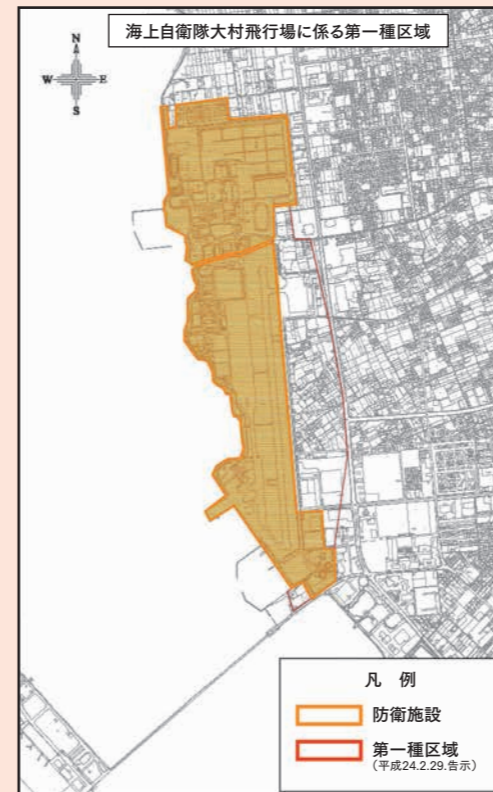
## 海上自衛隊大村飛行場に係る第一種区域の指定

～住宅防音工事～

長崎空港旧A滑走路は昨年12月に防衛省が設置する飛行場（海上自衛隊大村飛行場）となり、本年2月29日に住宅防音工事の対象区域である第一種区域が告示されました。

九州防衛局から対象区域の方々に対し住宅防音工事の説明会を行っています。住宅防音工事に関して分からないことがありましたら九州防衛局防音対策課住宅防音係までお問い合わせください。（TEL092-483-8824）

なお、対象区域を示した縦覧図は、佐世保防衛事務所及び九州防衛局にて閲覧できます。



凡例  
防音施設  
第一種区域  
(平成24.2.29.告示)



▲施工前



防音サッシ

◀施工後

## 海上自衛隊 護衛艦「あきづき」就役

～長崎防衛支局～

3月14日（水）、三菱重工業（株）長崎造船所向島南岸壁で、ぎ装工事を終えた護衛艦「あきづき」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長高田2等海佐の指揮により配備先となる佐世保に向け出港しました。

「あきづき」は、5000トン型護衛艦の一番艦として平成19年度に計画され、全長151メートル、最大幅18.3メートル、深さ10.9メートル、推進機関としてガスタービン4基を装備し、最新鋭のレーダー・システムを備え防空能力に優れるとともに、哨戒ヘリコプター1機を搭載します。

同艦は、平成21年7月に起工され、平成22年10月に「あきづき」と命名され進水、その後ぎ装工事を行い、今般就役したもので、この間、長崎防衛支局が建造工事の監督、検査など、同艦の船出に深く関わりました。



4



1



2



3

写真：1 自衛艦旗授与  
2 艦長及び乗組員乗艦  
3 自衛艦旗掲揚  
4 佐世保へ出港した「あきづき」

## 航空自衛隊西部航空音楽隊第48回定期演奏会にて「パネル展」実施

～地方協力確保事務～

九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解をいただくために航空祭や音楽隊の演奏会などの機会に、自衛隊の活動や防衛白書、九州防衛局の業務等についてのパネル展を随時行っております。

3月9日（金）福岡市のアクロス福岡シンフォニーホールにおいて、航空自衛隊西部航空音楽隊第48回定期演奏会が開催されました。

九州防衛局では、この機会に、ロビーにおいて東日本大震災への対応や我が国を取り巻く安全保障環境などを紹介した防衛白書のパネルを展

示しました。展示をご覧に来られたの方々に対して、パネルについて説明を行うとともに防衛白書のダイジェスト版、震災のパンフレット、九州防衛局の広報紙を配布しました。



■写真：九州防衛局展示コーナーと演奏を行う西部航空音楽隊

開催予定やこれまでの開催状況等詳しい情報につきましては、九州防衛局のホームページをご覧ください。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

# 4 インフォメーション

## 日米交流事業のご案内

九州防衛局における日米交流事業は、米海軍佐世保基地周辺の佐世保市民と米軍人やその家族との交流を深めることを目的に、平成21年度から佐世保市などの協力を得て実施しております。

3回目を迎えます今回の交流事業は、下記ご案内のとおり音楽交流会を予定しています。

多くの方々のご来場をお待ちしております。

- 開催場所 佐世保市民会館大ホール
- 開催日 平成24年5月19日(土)
- 事業内容 日米交流合同コンサート

写真：昨年度実施した「日米親善ふれあいバスケットボール」に参加した日米の子供たち



## 平和を仕事にする— 自衛官募集

募集種目	募集人員	資格	受付期間	試験期日	合格発表	入(隊)校
陸上自衛官(看護)	参考(平成23年度) 約5名	看護師免許を有し、保健師・助産師免許を有する者(見込含)で36歳未満の者	9月3日～10月1日	11月17日	平成25年1月9日	平成25年4月上旬
看護学生	参考(平成23年度) 陸上 約70名	高卒(見込含)24歳未満の者	9月3日～10月1日	1次 10月20日 2次 11月17日～18日	1次 11月2日 最終 平成25年1月9日	平成25年3月下旬～4月上旬
航空学生	参考(平成23年度) 海上 約70名(うち女子若干名) 航空 約40名(うち女子若干名)	高卒(見込含)21歳未満の者	8月1日～9月7日	1次 9月22日 2次 10月13日～18日 3次 11月10日～12月13日	1次 10月5日 2次(海) 11月7日 (空) 11月2日 最終 平成25年1月18日	平成25年3月下旬～4月上旬
防衛大学校学生(一般前期)	参考(平成23年度) 人文・社会科学専攻 約65名 理工学専攻 約235名	高卒(見込含)21歳未満の者(自衛官は23歳未満の者)	9月3日～10月1日	1次 11月10日～11日 2次 12月11日～15日	1次 11月30日 最終 平成25年1月22日	平成25年4月上旬
自衛官候補生 <small>所要の教育を経て、3ヶ月後に2等陸・海・空士に任用</small>	男子 参考(平成23年度) 陸 約2,325名 海 約500名 空 約600名	18歳以上27歳未満の者	年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。	試験時にお知らせします。	採用予定通知書でお知らせします。
	女子 参考(平成23年度) 陸 約500名 海 約60名 空 約60名	18歳以上27歳未満の者	8月1日～9月7日	9月23日～26日	11月9日	平成25年3月下旬～4月上旬
高等工科大学校生徒(一般)	参考(平成23年度) 約260名	中卒(見込含)17歳未満の男子	11月1日～25年1月7日	1次 平成25年1月19日 2次 平成25年2月2日～5日	1次 平成25年1月28日 最終 平成25年2月22日	平成25年4月上旬

詳しくは防衛省ホームページもしくは各地方協力本部へお問い合わせください。

募集コールセンター **0120-06-3792**  
365日年中無休 受付時間/12:00～20:00

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。